

# 図書館だより

第18号

八千代市立大和田図書館 482-3240

八千代台図書館 482-0912

勝田台図書館 484-4946

緑が丘図書館 489-4946

ホームページ <http://www.library.yachiyo.chiba.jp>

## 新刊書のリクエストがお受けできます！

いつも図書館をご利用いただきましてありがとうございます。  
ご不便をおかけしてまいりましたが、10月より八千代市内図書館に所蔵のない新刊書のリクエストもお受けすることができるようになりました。

従来通り、一日に所蔵・未所蔵合わせて**5冊**まで、リクエスト用紙をカウンターまでお持ちください。ホームページ及び館内の検索用パソコンからは、所蔵本のみのお受けが変わりありません。ご予約いただける最大冊数は**15冊**までです。

- \* 「上下巻」など複数巻に分かれる図書はそれぞれ1冊ずつでカウントします。リクエスト用紙を5枚お持ちいただいても、複数巻の図書が入っている場合は5枚すべてはお受けできませんのでご了承ください。
- \* ベストセラー本に予約が集中しております。予算を有効に使わせていただくため複本の購入を控えさせていただいており、昨年より、ご用意できるまでに時間がかかります。少しでも、早くお読みいただけるように、「ご用意できました。」の連絡が届いたら、図書館へお急ぎください。また、返却日をお守りいただくよう皆様のご協力お願いいたします。

## ◎雑誌もタイトル数が増えました。

4月以来、大変寂しかった雑誌架。10月から一部ですが、増えました。市内所蔵の雑誌一覧は各図書館内の掲示やホームページをご覧ください。

- \* 市内図書館の雑誌は、発売日（書架に並んだら）から予約ができます。発売日前の予約は、利用者皆様の公平を期するためお受けしていません。

## ●図書館の行事の報告とお知らせです。

### 図書館教養講座

#### 《スライドでたどるアンデルセンの生涯と文学》

7月16日（土）緑が丘プラザ5階集会ホールで、中央大学名誉教授池田正孝先生による講座を行いました。2005年はアンデルセン生誕200周年にあたります。先生は、アンデルセンの故郷デンマークのオーデンセやコペンハーゲン、「マッチ売りの少女」「人魚姫」などの童話のゆかりの地を4回も取材旅行され、200枚以上の美しいスライドの解説も交え、参加者58名の方に喜んでいただきました。

また、当日会場では先生が撮影された写真のパネルとアンデルセンの本の展示も行い、アンデルセン文学の世界を楽しんでいただきました。

#### 《遥かなる道～明日に希望を！ある難病児の記録》のお知らせ

市内在住の工藤矩弘さんに、小児ネフローゼに冒され生死の境をさまよいながらも、専門医師と家族の支えで病を克服し、小児科医になった青年の軌跡を、父親の目から語っていただきます。

☆日時 11月12日（土）午後2時～4時

場所 緑が丘プラザ

募集 10月15日から先着50名

### 科学あそび

#### 《おもしろわくわく科学あそび—磁石で遊ぼう》

7月21日（木）緑が丘プラザ5階で緑が丘図書館公民館共催により、午前・午後あわせて36人の小学生を対象とした科学あそびの会を行いました。

講師は元現代産業科学館で技術指導員をされていた岸本春雄さんと助手の池城さんです。

身近な生活の中で磁石がたくさん使われていることや、地球も大きな磁石だという話、磁石を使ったたくさんの実験や遊びに参加した子供たちの目が輝いていました。



## 《おもしろわくわく科学工作》

8月23日（火）緑が丘プラザ5階で緑が丘図書館と公民館の共催により、小学3～6年生とその保護者20組を対象に、簡単なモーターや炭で電池を作りました。講師はお馴染みの岸本春雄さんです。

## ●中学生の〈職場体験学習〉が増えてます。

各図書館で制服にエプロンというかわいらしい姿の中学生を見かけませんでしたか？

職員にまじり、カウンターでの資料の貸出・返却や書架整頓など2日間図書館の仕事を体験していただきました。始めは緊張しているようでしたが、すぐにパソコンにも慣れて明るく元気に対応していました。短い期間でしたが、将来に向けて貴重な体験のひとつとなったことと思います。

利用者の皆様のご協力ありがとうございました。

## ●習志野市の3大学が利用できます。

千葉工業大学図書館・日本大学生産工学部図書館・東邦大学習志野メディアセンターは、下記の条件を満たしていれば誰でも利用できます。

- ・利用対象は 八千代市・習志野市・船橋市に在住、または18歳以上で通勤・通学している者
  - ・入館に必要なものは 上記の公共図書館の利用権または身分証明書
  - ・対象のサービスは 館内での閲覧、複写、レファレンス
- 下記のサイトから、3大学の所蔵資料が同時に検索できます。

<http://n-opac.toho-u.ac.jp/mutual/mutual.html>

## 「南極のペンギン」のCDが寄贈されました。

俳優の高倉健さんが、撮影で訪れた世界中の土地で出会った、心優しい人たちとのふれあいを綴った自著を、子供たちに自分の声で伝えたいとの思いを、宇崎竜童さんのプロデュースで2年がかりで実現したCDです。健さん独特の語りに心が癒されます。

ぜひ、ご家族そろってお聴きください。

## 落語ブームはどこまで続く！！

今、世代を超えて落語ブームが広がっています。

「じゅげむ、じゅげむ、ごこうの・・・」の「寿限無」は誰でも一度は聞いたことがあるでしょう。言葉の面白さからか、小さな子供たちでも誦んじています。

また、テレビドラマの影響からか、都内の寄席はどこも若者で満員御礼状態です。九代林家正蔵襲名披露には、上野—浅草間の沿道に14万5千人もの人が集まりました。古さと新しさが同居している、古典芸能の中でも、噺家の話芸を堪能する“落語”に触れてみませんか？

まずは、「落語はわからない」という方にお薦めの小説

☆三人目の幽霊 大倉崇裕 作

落語雑誌の編集部配属された間宮緑が、慣れない落語の世界で起こる不可解な事件に振り回されつつ、落語の世界にはまっていく・・・

「七度狐」「やさしい死神」と続きます。

☆笑酔亭梅寿謎解噺 田中啓文 作

鶏冠頭の不良少年が破天荒な落語家入門することから出会う数々の事件。

落語の演目に沿って話が進みます。上方落語を楽しみたい方にも。

☆空飛ぶ馬 北村薫 作

北村薫のデビュー作。落語好きの女子大生が日常に潜む不可解な謎を落語家の円紫師匠に解いてもらう心温まるミステリー。

「夜の蟬」「秋の花」「六の宮の姫君」「朝霧」と続きます。

「落語の世界につかってみたい」という方は

☆古典落語のシリーズをどうぞ 講談社版と筑摩書房版があります。

☆落語大百科 1～5巻

「本物を耳から楽しみたい」という方には

☆NHK落語名人選 CD資料（緑が丘図書館所蔵）

「家族で楽しみたい」という方には

☆落語絵本のシリーズ 川端誠 作

「まんじゅうこわい」「めぐろのさんま」など親子で楽しめます。

読書週間が始まります。  
新しい“お気に入り”の  
本を見つけてみませんか？

図書館だより 第18号

\* 編集 八千代台図書館  
八千代市八千代台北6-7-6

TEL047-482-0912

\* 発行日 平成17年10月